

令和6年度 大学塾 第3ステージ 開催案内

元 NHK アナから学ぶ 話し方スキルアップの技法

自分の話し方を、より分かりやすく印象の良いものに
変えたいと思っても、それには長い時間とトレーニング
が必要だと考えていませんか。しかし、ポイントを押さ
え、ごく簡単な“表技”“裏技”を実践してみれば、驚くほ
ど変わります。



講 師：岡部 晃彦 氏 元 NHK 日本語センター専門委員

日 時：12月2・16・23日（月曜日）全3回 午後2時～4時

岡部晃彦 氏

会 場：足立区生涯学習センター（学びピア21内）5階 研修室1

講義内容：第1回 シッカリと話そう…「自己紹介」で練習

～見た目・音声・明快なセンテ・ナス・気持ちの問題・時間～

第2回 分かりやすく話そう…「説明・意見・依頼」で練習

～誰にも、すぐに、はっきりと分かる方法・気持ちを伝える～

第3回 受ける話をしたい…「短いスピーチ」で練習

～やさしい作り方、ドラマ・驚き・ユーモア・感動など～

令和6年10月 月例会 報告(10月15日)

2024 あだち NPO フェスティバル 出展について



NPO フェスタ 2024 展示イメージ

2024 あだち NPO フェスティバルが 11月16日(土)・17日(日)の2日間、
エル・ソフィア、梅島公園、足立成和信用金庫 中央支店、NPO 活動支援セ
ンターで開催されます。今回の出展目的は、「樂学の会」の事業の紹介ほか、
会員の高齢化が加速して、スキルのある会員が退会するなどで、長年
続けて来た高度な企画ノーハウや定着した講師陣を活用し講座を続けてい
く事が困難なまでの状況に追い込まれ、事業の健全なる運営が危ぶまれる
事態となっている現状を訴え、スキルのある会員の獲得 “急募” に向けて
全力を尽くすことと致しました。

2024 あだち NPO フェスティバルでは「あだち区民大学塾」事業で
より質の良い、講座を区民に幅広く広報すべく「何歳になっても学び 直
しが出来るリカレント教育」の推進をより強く打ち出して行きます。

今後とも当会の事業へのご理解とご協力を賜ります様よろしくお願いい
たします。

(ボランティア活動推進部 鈴木良夫)



月例会で展示企画打合せ

令和6年度 大学塾 第3ステージ 開催講座 報告

古代の歴史・伝承・史跡を訪ねて 奈良を歩く

開催日：10月6・20・27日（日曜日）足立区生涯学習センター（学びピア21内）5階 研修室1

講 師：大沢正明 氏（江戸文化歴史検定一級 奈良まほろばソムリエ検定 ソムリエ級）

受講者数：65名（延受講者数171名）運営スタッフ：8名

奈良の中で歴史スポットを多く持つ「山の辺の道」を桜井から石上神宮まで訪ね「橿原・飛鳥周辺の道」を追って、古事記や日本書紀にある神話時代から古墳時代・飛鳥時代に至る歴史を概観しました。



第1回は、山の辺の道とは、日本書記に存在が確認されている1300年以上の歴史がある“日本最古の官道である”。“山辺の道”は奈良市街まで続くが、桜井から天理までの一般コースは16kmである。箸墓古墳は大きさでは全国で11番目、奈良県下では、3番目の規模を持つ。過去に5回の発掘調査がおかなわれており。出土土器の検討により前方部が布留0（ゼロ）式期（4世紀初め）の築造であるとされるこの古墳は邪馬台国の嬢王「卑弥呼」の墓という邪馬台国畿内説でも有名である。仏教伝来、金谷の石仏、大神神社、桧原神社が紹介された。

第2回は、纏向遺跡から石上神宮までです。日本で最初に巨大な前方後円墳群が出現するのは大和盆地東南部の三輪山山麓の巻向地区である。それらは日本で最初の統一政権、ヤマト政権の有力者の墓として築かれたものといわれて、山の道に沿って行燈古墳（崇神天皇陵）、渋谷向山古墳（景行天皇陵）、箸墓古墳などが1~2kmの間隔で並んでいます。これらの古墳群の中でも最古の大型前方後円墳のある箸墓古墳のある纏向遺跡には、さらに古い古墳群がある。石塚や矢塚などの弥生の墳丘墓と呼ばれるもので、やはり前方後円墳景形をしている。



箸墓古墳のすぐそばには、同時期に作られたとされるホケノ山古墳がある。ホケノ山古墳も前方後円墳の形をしている。纏向遺跡では、いくつかの大きな弥生の墳丘墓が築造されたあと、箸墓という最初の巨大な墓が出現しているということである。卑弥呼が女王になったのは紀元180年ごろなので、邪馬台国から初期ヤマト政権の時代に重なるとされる。相撲神社、崇神天皇陵、黒塚塚古墳、長岳寺、石上神宮が紹介された。



第3回は、橿原・飛鳥の甘樺丘と阿倍山田道です。甘樺丘は頂上から飛鳥一円が眺望できる標高145メートルの小高い丘である。この中腹と麓に、曾我蝦夷・入鹿親子の邸があったと言われているが、大化の革新によって入鹿が中大兄皇子に倒された直後、蝦夷はその邸に火をかけて自害した。この位置が大化の革新の際、中大兄皇子が陣取ったとされる飛鳥寺と対峙することや、土器の年代観、この時期に一致する事などから調査地の上方に蘇我亭が存在していたであろうことが想定される。今城谷古墳群、畝傍山東北陵、増田岩船、水落遺跡、豊浦宮跡、大管寺跡・石舞台古墳、坂舟石と坂舟石遺跡、山寺跡、阿倍文珠院と安部山田道が紹介された。

《受講者の意見》

・好きなテーマでとても楽しく興味深く拝聴しました。飛鳥に行くつもりですので3回目は楽しかった。・この春飛鳥地方の古墳を訪ね歩きました。今度は山の辺の道も散策したいと思っています。貴重なお話映像等楽しかったです。ありがとうございました。・参加者が多く古代史や史蹟に関心のある方の熱意を感じました、これまで奈良への思いは希薄でしたが講義を聞いて、日本人の心の故郷という郷愁を感じました。・今回の講義で奈良に行きたくなりました。奈良への旅でゆっくり歩いてみたい。・奈良の古代を知る上で大変役立った、講師の説明もわかりやすかったです。・より深く奈良を知ることができました。



折を見て山の辺の道を訪ね歩いてみたいと思っています。・寺社・仏閣の歴史、史蹟ではなく「山の辺の道」を教えていただき、神話から飛鳥時代まで非常に興味がわきました。古事記の資料を読み合わせると一層理解が進みました。ありがとうございました。・資料がとても充実しており、資料を持って奈良を旅したいと思います。・より深く奈良を知ることができました。折を見て山の辺の道を訪ね歩いてみたいと思っています。寺社・仏閣の歴史、史蹟ではなく「山の辺の道」を教えていただき、神話から飛鳥時代まで非常に味がわきました。との意見多く、奈良を訪ねたいとのコメントが多かったです。

（安田善英）

あだちサークルフェア2024 出展報告

「あだちサークルフェア2024」10月12日（土）と13日（日）の2日間にわたって足立区生涯学習センターの講堂・研修室を会場として開催、30を超える足立区内の地域学習センター登録団体・活動するサークル・団体が集まり日ごろの活動の成果をステージや展示で披露し、地域の魅力づくりや絆づくりを行いました。イベントでは、明るく元気いっぱいのステージ部門、日頃鍛えた腕前を魅せる作品展示、どなたでも楽しめる体験コーナーのほかに、青空ステージや物品販売、ゲームなど盛りだくさんの内容でした。（「あだちサークルフェア」は、2009年、足立区で活動する団体と、足立区生涯学習センターとで実行委員会が構成され、地域で活動する様々な団体の発表の場としてイベントを運営しています）。

今年、開催15周年を迎えて、地域のちから推進部生涯学習支援課長 太田照生氏、実行委員長 林太一氏、生涯学習センター所長 平野昌暁氏のご挨拶とテープカットで開会が宣言されました



同時開催の「あだち区民まつり A-Festa2024」も荒川河川敷「虹の広場」で開催され、晴天に恵まれ多くの方が来場されました。



区内で活動する団体・サークルが作品展示や発表など日頃の成果を披露。子供向の各種体験コーナーもあり、講堂のステージでは多くのサークルの舞台発表があり1年間の活動の成果を発表して居ました。



講堂ギャラリーには、当会を含め4団体が展示。楽学の会の活動内容、令和6年度の大学塾講座の紹介や活動風景の写真などをパネルで展示・説明、積極的に「楽学の会」をアピール“急募”致しました。



（ボランティア活動推進部）

みんなの広場

足立区にある富士塚

7月1日は富士山の山開きです。今年も沢山の人々が富士登山を楽しむことだと思います。江戸時代には「江戸八百八講」といわれ、富士講が隆盛を極め、各地に富士塚が築かれました。富士山に登り参拝することの出来ない人々が、富士山の代わりに参拝をしました。

東京の富士塚は1780年（安永9年）に高田篠四郎が江戸高田水稻荷に建てたものが最古と言われています。現在は早稲田大学の拡張により、近隣の水稻荷神社に移築されています。

さて足立区には13基前後の富士塚が現存していますが、そのうち7基が文化財となっています。実際には富士塚として残っているものもありますが、小さな祠や石碑が残っている場合もあります。

足立区の文化財となっている富士塚は以下の7基です。



千住宮元富士 (千住神社)



花又富士 (花畠浅間神社)



保木間富士 (保木間氷川神社)



五反野富士 (西之宮稻荷神社)



綾瀬富士 (綾瀬稻荷神社)



千住柳原富士 (柳原稻荷神社)



千住川田浅間神社富士 (大川町氷川神社)

足立区の文化財指定を受けていない富士塚は次の6基です。



島根富士 (島根鷺神社)



小右衛門富士 (小右衛門稻荷神社)



押部富士 (押部鎮守八幡神社)



宮城富士 (宮城氷川神社)



西新井富士 (西新井浅間神社)



伊興富士 (伊興東氷川神社)

神社仏閣巡りには札所巡り・観音靈場巡り・七福神巡りなどがありますが、7月には富士登山が出来なくとも、一度は近くの富士塚巡りも楽しんではいかがでしょうか。

(文化財保護指導員 糸井史郎)

令和6年10月 運営委員会 報告・連絡

日 時：令和6年10月1日（火）15:00～
場 所：生涯学習センター：5階 研修室4

代表挨拶（金子代表）

荒川放水路通水100周年記念3事業は、皆さまのご協力のお陰で、無事に終了することができました。改めて言礼申し上げます。

10月は「古代の歴史・伝承・史跡を訪ねて 奈良を歩く」です。宜しくお願ひいたします。

12・13日（土・日）は、あだちサークルフェア2024が開催されます。スキルのある新規会員の獲得に向けて、積極的に呼びかけを行いますのでよろしくお願ひいたします。

議 事

（1）情報交換

- ・なし

（2）月例会開催について

- ・10月15日（火）「NPOフェスティバルの出展内容について」
- ・11月15日（金）検討中



金木犀

（3）あだち区民大学塾： 講座企画会議：10/1（火）、11/1（金）、検討会議：10/15（火）、11/15（金）

- ・8月 荒川放水路通水100周年 8/31（土）、9/7（土）、18（水）、応募者85名→抽選62名、
 - ・第1回記念講演会 8/29 受講者 51名
 - ・第2回記念シンポジウム 9/7（コーディネータ、パネリスト3名）受講者49名
 - ・第3回船上セミナー 9/18は講義受講者対象で9/7に抽選24名に乗船券配布：受講者24名
荒川下流河川事務所へ乗船者名簿9/9提出、行事保険を申込済
 - ・100周年パネル展示、のぼり旗の設置：生涯学習センター、中央図書館（2F） 9/1～9/7
- ・10月 古代の歴史・伝承・史跡を訪ねて 奈良を歩く 10/6、20、27（日） 応募締切日 9/24
応募者68名 受講券送付済、運営スタッフ募集中；第1回10/6のスタッフ確保必要。
- ・11月 20世紀の絵画を楽しむ（マティス・ピカソ・ローランサン他） 11/9、23、30（土） 講堂
応募締切日 10/25（金）

（4）各部局からの報告および提案

- ①学習支援部：12月分講座の交換便へチラシ封入作業 10/15（火）に封入する、鑑、封筒の準備する
- ②ボランティア活動推進部：

- ・6年度あだちサークルフェア2024（10/12（土）、13（日）開催）へ参加 センター1Fホワイエ
サークルフェア参加料3000円支払い済、ポスター5枚、プログラム30部申請済
サークルフェア運営スタッフ募集；センターの手伝い（チラシ配布他）要員も必要
楽学の会のPR内容、配布資料については10/7（月）午後に検討、作成する
準備のためのセンターでのボード使用可能日の確認：鈴木様

*展示ブースでは積極的に会員獲得を目指し来場者へ積極的に呼びかけを行う。

- ・NPOフェスティバル（11/16、17 エルソフィア他）：：：参加申込済

- ③事務局：ニュース発送10/1（火）、事務局部会10/9（水） 6年度前期決算

- ④広報グループ：楽学ニュース310号発行、ホームページ10/1発信、メルマガ209号発行

（5）会員募集の告知

- ・メルマガ 9月1日号に会員急募を掲載済、ホームページに「入会のお誘い」掲載中
- ・足立朝日に会員急募を掲載告知した（9月5日号）

（6）その他

- ・松下さんより退会の申し出ありました。ただし今後スポットで協力頂く（ホーリー講座へ協力他）
- ・社会教育 10月号 回覧

次回運営委員会 11月1日（金） 15:00から（研4）

生涯学習センター 講座情報

◎講座名：東京電機大学イブニングセミナー 日本の伝統文化を未来に繋ぐ 現代音楽における能声楽

あだち 100 年大学講座

日 時：11/22（金） 午後 6 時 30 分～8 時

対 象：16 歳以上の方

定 員：100 人（事前申込先着順）

受講料：無料

会 場：足立区生涯学習センター 講堂

講 師：青木 涼子 氏（能声楽家）

内 容：青木氏は、能の「謡」を現代音楽に融合させた「能声楽」を生み出し、現代の作曲家を惹きつける「21世紀のミューズ」。世界からのオファーが絶えない、現代音楽で最も活躍する国際的アーティストの一人として活動されています。本講演では、「日本の伝統を未来に繋ぐ～現代音楽における能声楽」をテーマにお話し頂きます。

◎講座名：花開く千住・足立の美術文化 －酒合戦を中心として－

あだち 100 年大学講座

日 時：12/1（日） 午後 2 時～3 時 30 分

対 象：16 歳以上の方

定 員：150 人（事前申込先着順）

受講料：無料

会 場：足立区生涯学習センター 講堂

講 師：小林 優 氏（足立区立郷土博物館

学芸員）

内 容：江戸時代後期、千住宿の人々は、江戸画壇を代表する酒井抱一や谷文晁らと親交を結び、豊かな美術文化を花開かせました。

そしてこの交友は、抱一・文晁らを招いて開催された「千住の酒合戦」へと結実します。酒合戦を中心に、千住・足立の美術文化をご紹介します。

お申込みは：電話(03-5813-3730) 又は直接窓口
インターネット [近所 de まなびナビ] で検索
イベント・講座情報→講座予約システム
※感染症拡大予防のため講座の中止、延期の場合も
ございます。 予めご了承ください。



ナマがくん

月例会のご案内

令和6年11月「月例会」のご案内

日時：11月15日（金）午後13時～

「新入会員説明会・情報交換会」

皆さまの積極的な参加をお願いします。

（ボランティア活動推進部）

楽学インフォメーション

★会合のお知らせ★

- ◎ 運営委員会
11月 1日（金）午後3時～4時 研修室4
- ◎ 月例会
11月 15日（金）午後3時～5時 研修室4
- ◎ 学習支援部
11月 15日（金）午後1時～2時 研修室4
- ◎ ボランティア活動推進部
11月 休会
- ◎ 事務局
11月 1日（金）13時～14時 ニュース発送
11月 13日（水）13時～16時 ワークルーム
- ◎ 広報グループ
メール会議
- ◎ 大学塾講座検討会議
11月 15日（金）午後2時～3時 研修室4
- ◎ 大学塾講座企画会議
11月 1日（金）午後2時～3時 研修室4
- ◎ 生涯学習センター 休館日
11月 11日（月）

★お問い合わせ＆ご意見

- ◎ 「楽学の会」の運営に関するお問合せ
事務局 福田哲郎 電話:090-3207-8444
E-Mail : tefukuda2002@yahoo.co.jp

編集後記

脱炭素化社会に向けて 地球温暖化の時代から地球沸騰の時代が到来!?

令和5年（2023年）は記録的な高温の1年であり世界及び日本の平均気温は統計開始以降最も高くなりました。令和5年7月にはグテーレス国連事務総長が「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰の時代が到来した」という言葉で、気候変動による最悪の事態の回避を訴えました。気候変動の影響は、地球規模での平均気温の上昇や海面水位の上昇、大雨の頻度や強度の増加、干ばつの増加、大気中の二酸化炭素濃度増加による海洋酸化など、世界中様々なところに現れています。このため、気候変動は国境を越えて社会、経済人々の生活に影響を及ぼす重要な問題であり、国際社会の一致団結した取り組みが不可欠です。気候変動問題に関する国際社会の取り組みとしては、フランス・パリで開催されたCOP21において採択されたパリ協定では、「世界の気温上昇を工業化以前から2°Cより十分低く保ち、1.5°Cに抑える努力をすることを世界共通の長期目標としました。このような気候変動に関する国際的な合意形成において、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）は評価報告書を作成・公表し議論の基盤となる科学的知見を提供しており、最新の第6次評価報告書統合報告書（2023年環境省）では、地球温暖化は人間の影響が原因であることに疑いの余地はなく、世界の平均気温は工業化以前に比べ既に1.1°C上昇しており短期のうちに1.5°Cに到達する見込みであることが示されました。また、現状のままだと平均気温は今世紀中に3.1度上昇し壊滅的影響を及ぼすと警告している。それらの事から、この10年間に進行する選択や実施する対策は、現在から数千年先まで影響を持つと警鐘をならしています。（金子勝治）